

2022年8月11日

公益社団法人 日本伝熱学会
東海支部学会員の皆様

「日本伝熱学会東海支部 第29回伝熱コロキウムのご案内」

日本伝熱学会東海支部
支部長 板谷 義紀

日本伝熱学会東海支部では、以下の様に第29回伝熱コロキウムを開催致します。今回は4講演を予定しております。本コロキウムを通して、産官学の技術者、研究者の交流を深めて頂ければ幸いです。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. **日時**：2022年9月12日(月) 14:00～16:30（受付 13:40～）
2. **開催方式**：ハイブリッド形式（以下の会場とZOOM会議を併設）
※発表者、支部役員の方々は原則現地参加でお願いします
⇒ZOOMの接続先などの情報については、開催日の数日前までに参加者の方にメールにてご連絡致します。
⇒開催方式は、感染状況に応じて変更をさせて頂く可能性があります。
3. **場所**：ウィンク愛知 15階 会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38
※アクセス方法は下記URL参照下さい。
<http://www.winc-aichi.jp/access/>
4. **参加費**：無料
5. **参加定員**： 現地参加30名程度（先着順に受け付け）
※オンライン参加人数に制限は設けません

6. スケジュール：

(敬称略)

14:00～14:10	日本伝熱学会東海支部・支部長挨拶（板谷 支部長）
14:10～14:40	「選択波長赤外線による新たな塗布膜乾燥プロセスの構築」 ○近藤 良夫（日本ガイシ）
	近年、各種製造工程において「乾燥」の重要性がクローズアップされているが、現状主流の熱風方式は効率化の限界に直面している。弊社では、塗布膜の吸収特性に適合した選択波長赤外線に着目し、それによる乾燥時間削減や製品ダメージレス等の可能性について長期間検討してきた。塗布膜中の諸分子と赤外光との相互作用について、実験結果を踏まえ考察を試みる。
14:40～15:10	「機械工場向け急速冷却装置の開発」 ○長 伸朗（中部電力）
	自動車工場などの熱処理等の加熱後の金属製品の冷却工程において、従来のファンなどを用いた冷却方法は、冷却時間が数十分から一日と長いという課題があった。また、水槽に浸して冷却時間を短くする方法では、割れの発生による製品不良などが課題であった。そこで、エアとミストによって、金属製品を短時間で均一に冷却できる「急速冷却装置」を開発した。
15:10～15:30	休憩
15:30～16:00	「数値解析を活用した気液二相流分配評価技術の開発」 ○左海 将之（三菱重工）
	空調製品等で使用される熱交換器では、気体と液体が混在した気液二相流がヘッダ型の分配器によって複数の伝熱管へ配分されている。流量分配を予測するには、分配器内の挙動だけでなく、下流側の伝熱管内における圧力損失も考慮する必要がある。そこで、分配器内の流動解析と伝熱管内の圧力損失に関する一次元モデルを連成させた予測手法を開発し、試験結果との比較検証から液相分配比を実用的な精度で予測可能であることを示した。
16:00～16:30	「カーエアコン用ファンの翼流れと音に関する研究（仮）」 ○小坂 翔（デンソー）
	送風機の低騒音化のため、ファン翼列の騒音発生原理を解明することを目指している。本研究ではシロッコファンの翼間における剥離の大きさと騒音の関係に注目した。剥離の大きさが異なる2種類の翼列を用いた翼間流れをPIV可視化装置で詳細に観察し、騒音を比較することで、騒音の大きさが翼間の剥離の大きさだけで決定できないことを明らかにした。

注：ご発表の都合により、順序が変更になる場合があります

7. 参加お申込み方法：

件名を「第29回伝熱コロキウム参加申し込み」と明記の上、

- (1) お名前（ふりがな）、ご所属
- (2) ご出席の形式（現地参加 or オンライン参加）
- (3) ご連絡先電話番号、E-mailアドレス

をご記入の上、電子メールにて下記までお申し込みください。

※できるだけ会社、研究室単位でまとめてお申し込み頂きますと幸いです。

8. 申込期限：

2022年 9月 5日（月）

9. お申込み先・お問合せ先：

〒480-1192 愛知県長久手市横道41番地の1

（株）豊田中央研究所 エネルギーマネジメント研究領域

山内 崇史

電話：0561-71-7956

E-mail： e1177@mosk.tytlabs.co.jp